

四日市市三浜文化会館 カルチャー三浜 周辺マップ



〔お車をご利用の場合〕

国道1号「日永3丁目」交差点 東へ約5分
 国道23号「海山道一」交差点 東へすぐ
 県道6号(塩浜街道)「大井の川町」交差点 西へ約1分

〔お車をご利用の場合〕

国道1号「日永3丁目」交差点 東へ約5分
 国道23号「海山道一」交差点 東へすぐ
 県道6号(塩浜街道)「大井の川町」交差点 西へ約1分

舞台創造ゼミ「戯曲講座」申込書

フリガナ 氏名			
年齢	歳	性別	申込口座に○をつけてください。
連絡先	TEL	A 長編講座	
	携帯	B 短編講座	
	メールアドレス	C ワークショップ	
舞台経験や劇作に関する経験など(あれば)			



第1弾
戯曲講座

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団では、
 実演芸術やアートマネジメントに携わる人材の
 育成や、プロスタッフが指導する
 舞台技術の講座＝舞台創造ゼミを
 開催いたします。

戯曲講座では、演劇の脚本＝戯曲の創作を講師の指導で行ってまいります。
 劇作家を目指す方だけでなく、戯曲の読み方や触れ方を知りたい方、お芝居の
 楽しみ方を知りたい方も参加することが可能です。
 内容も、長編講座・短編講座、そしてお試し頂くワークショップをご用意しました。
 講師には、京都を拠点に演劇活動を続け、各地で戯曲講座も展開されている
 下鴨車窓・代表の田辺剛さんを迎え開催いたします。多くの皆様のご参加を
 お待ちしています。

【開催内容】

	講座名	詳細	対象	人数
A	長編講座	参加者が書きたい戯曲を執筆していきます。 講師とやり取りを重ねながらブラッシュアップを目指します。	経験者	3名程度
B	短編講座	お題を決めて、ワンシーンの戯曲を書いてみます。 講師のアドバイスや、他の参加者の作品も参考としながら戯曲をつくりあげていきましょう。 ※前半の2回は、ワークショップと合同開催をいたします。	初心者	5名程度
C	ワーク ショップ	戯曲の成り立ちを学びながら、構造などの理解を深めていきます。 お芝居の見方がさらに楽しくなるかも知れませんよ。	初心者	問わず

【日程】

	講座名	第1回	第2回	第3回	第4回
A	長編講座	6月22日(土) 15時30分～17時30分	7月20日(土) 15時30分～17時30分	8月25日(日) 15時30分～17時30分	9月23日(月・祝) 15時30分～17時30分
B	短編講座	6月22日(土) 13時00分～15時00分 <テーマ> あらすじを考えてみる	7月20日(土) 13時00分～15時00分 <テーマ> 台本を考えてみる	8月25日(日) 13時00分～15時00分	9月23日(月・祝) 13時00分～15時00分
C	ワークショップ				

【会場】

三浜文化会館

【対象・条件】

15才以上で、戯曲に興味がある人

A長編講座・B短編講座 4回の講座に全てに原則参加できる方

※ワークショップを受講してから、短編講座に参加することも

定員に空きがある場合に可能です。

【実施回数】

長編講座・短編講座ともに全4回

ワークショップ全2回

【参加費】

A：長編講座 8,000円(4回通し)

B：短編講座 4,000円(4回通し)

C：ワークショップ 1,000円(1回)

※初回開催時にお支払いください。なお、講座を欠席した場合の返金はありません。

【応募方法】

申込書に必要事項を記入して、四日市市文化会館へ、郵送・直接持参、WEBのいずれかで提出してください。

<必要書類>

A:長編講座 申込書とあわせて、講座で改稿したい(すでにできていたり、書きかけの)戯曲、あるいは講座でこれから執筆したい作品の構想(タイトル、登場人物一覧、あらすじなど)を、A4一枚を上限にまとめて提出してください。

B:長編講座 申込書のみ

C:ワークショップ 申込書のみ

※申込者多数の場合、<A長編講座>は提出書類による選考、<B短編講座>は抽選によって参加者を決めることとします。

【応募〆切 A:長編講座、B:短編講座のみ】

2024年5月31日(金)締切

※定員に空きがある場合は引き続き募集します。

締切後のご応募の際には下記までお問い合わせください。

※C:ワークショップは開催当日まで受け付けます。



【お問合せ・お申込み】

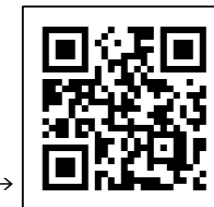
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団

四日市市文化会館「舞台創造ゼミ 戯曲講座」係

〒510-0075 三重県四日市市安島2丁目5-3

電話:059-354-4501

WEB申込はこちら→



※応募には、登録が必要です。

田辺 剛 (たなべ つよし) 【講師プロフィール】

劇作家、演出家。1975年生まれ。福岡県福岡市出身。京都大学在学中にギリシャ悲劇から三島由紀夫まで東西の古典戯曲を演出することから演劇を始めた。大学卒業後は劇団「t3heater」(しあた一、1999年結成)を経て2004年からは「下鴨車窓」を設立、京都を拠点に現代演劇の創作・公演活動を行っている。

2005年に『その赤い点は血だ』で第11回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。2006年秋より文化庁新進芸術家海外留学制度で韓国・ソウル市に一年間滞在し、劇作家として研修する。2007年に『旅行者』で第14回OMS戯曲賞佳作を受賞。また、子ども向け作品『きみがしらないひみつの三人』は、厚生労働省社会保障審議会において令和元年度児童福祉文化財の特別推薦作品に選出された。

近年では西日本を中心に戯曲を執筆する講座の講師を数多く務め、初心者から経験者まで受講生の経験に応じた多彩なプログラムを実施している。受講生からの戯曲賞の最終候補者や受賞者も輩出し注目されている。

[受講生作品の主な実績]

○仁科久美『わたしのそばの、ゆれる木馬』

第28回(2022年)劇作家協会新人戯曲賞 佳作受賞

○河合穂高『黄色の森』

第8回(2022年)せんだい短編戯曲賞 大賞受賞

○池山説郎『槍は降る降るひくまの館』

第2回(2022年)西の風戯曲賞 佳作受賞

○守安久二子『鮭なら死んでるひよこたち』

第21回(2022年)AAF戯曲賞 大賞受賞

○守安久二子『草の家』

TOON戯曲賞2018 大賞受賞

初心者向けの講座は、試しにちょっと書いてみたいという方はもちろんのこと、俳優や演出家をする人にとっても「戯曲ってどうやってできているのか」を知っていただく良い機会になると思います。長編講座ではガッツリと演劇のいろんなお話しをしましょう。貴方の想像をカタチにする作業のお手伝いをします。四日市へは初めて伺います。いろんな方との出会いを楽しみにしています。 田辺剛

